

令和4年度（2022年度）

神戸大学大学院

国際文化学研究科博士課程後期課程

特別推薦入試
学生募集要項

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、募集内容について変更を行う可能性があります。変更を行う場合は、本研究科のウェブサイトに掲載をします。出願を予定されている方は、こまめにウェブサイトをご確認ください。特に、出願の直前及び試験実施日の直前には、必ずご確認をお願いいたします。

神戸大学

目 次

博士課程後期課程

はじめに

1. 募集人員.....	1
2. 出願資格.....	1
3. 出願期間.....	1
4. 出願方法.....	2
5. 選考方法.....	3
6. 合格者発表.....	3
7. 入学手続.....	3
8. 個人情報の取扱いについて	4
9. 注意事項.....	4
10. 参考	4
志願者数等の状況	4

麻しん（はしか）, 風しんの感染予防措置	5
----------------------------	---

担当教員一覧

はじめに

(1) 国際文化学研究科が求める学生像

国際文化学研究科では、深い異文化理解能力と自在なコミュニケーション能力を有し、豊かな学識と創造的な研究能力を備えた人材を養成することを目指しています。

上記の教育研究上の目標をふまえ、本研究科が求めるのは次のような学生です。

前期課程

- ・文化の多様性をふまえ、異文化間の関係性を多角的に探究することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・言語情報コミュニケーションの動態を深く理解し、現代のグローバル社会の諸課題に取り組むことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・高い専門性の上に立った学際的研究を行うことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]

後期課程

- ・文化の多様性と相互作用の動態を究明し、文化研究の先端的な領域を主体的に開拓することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・言語情報コミュニケーションの諸問題を探求し、グローバル化する現代世界を多角的に研究することに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]
- ・高度な専門性の上に立った領域横断的な研究を行うことに強い意欲を持ち、それを達成する基礎的な能力を有する学生
[求める要素：知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性、関心・意欲]

以上のような学生像にもとづいて、本研究科の入学試験は実施されます。

(2) 教育方法の特例（夜間及び土・日曜日開講等）の実施

本研究科は、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間を、通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に設けます。）を実施します。

1. 募集人員

専攻	領域	コース	募集人員
文化相関	地域文化系	日本学 アジア・太平洋文化論 ヨーロッパ・アメリカ文化論	若干名
	異文化コミュニケーション系	文化人類学 比較文明・比較文化論 国際関係・比較政治論	
グローバル文化	現代文化システム系	モダニティ論 先端社会論 芸術文化論	若干名
	言語情報コミュニケーション系	言語コミュニケーション 感性コミュニケーション 情報コミュニケーション	
	外国語教育系	外国語教育システム論 外国語教育コンテンツ論	
	連携講座	先端コミュニケーション論	

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、学校教育法で定める大学・高等専門学校・短期大学の教授・准教授・専任講師・助教等として**常勤で勤務する者**（日本国外においては、所在国における高等教育機関に**常勤で勤務しており**、professor, associate professor, assistant professor, lecturer 等に相当する職位であると本研究科が認めた者）

- (1) 我が国において、修士の学位若しくは専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を授与された者
- (2) 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（第74条において「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

3. 出願期間

令和4年1月11日(火)から1月13日(木) 午後5時までに必着するように郵送してください。

また、必ず**書留速達郵便**にしてください。

送付先

神戸大学大学院国際文化学研究科教務学生係

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲1丁目2-1

封筒の表に「**神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程〇〇専攻入学願書（特別推薦入**

試) 在中」と朱書してください。

4. 出願方法

志願者は、次の提出書類等を取りそろえ郵送してください。提出する書類は「コピー可」以外はすべて原本としてください。

	提出書類等	摘 要
(1)	入学願書 及び履歴書	(本研究科所定の用紙)
(2)	成績証明書及び 修了証明書	出願資格を証明する大学院が発行したもの。 修了証明書には、取得した修士の学位名および学位の取得日が記載されていること。 修了証明書に修士の学位名及び学位取得日の記載がない場合は、修了証明書に加えて、学位取得証明書(修士の学位名及び学位取得日が記載されていること)を提出すること。 注1) 外国の大学院を修了した者で、当該証明書が日本語又は英語以外の言語によるものである場合、日本語への翻訳(A4)を添付すること。また、その翻訳に以下のことを明記すること。 1. 「翻訳の内容は、原本と相違ないことを証明する。」 2. 翻訳者氏名(修了した大学院発行のものでない場合は志願者とする) 3. 翻訳者の捺印又は署名 注2) 証明書に記載された氏名が修了等の後、婚姻等により変更された場合は、それを証する公的機関の発行した証明書等を添付してください。その書類は確認後返却します。
(3)	受験票	(本研究科所定の用紙)
(4)	写真	2枚(上半身, 脱帽, 正面, 縦4cm・横3cm) 出願前3か月以内に撮影したものを、入学(進学)願書及び受験票の所定の欄に貼付してください。
(5)	論文	A. 修士論文を提出して修士の学位を得た者 ・修士論文 3部(コピー可) ・修士論文の要旨 4部 (日本語(2,000字程度)又は英語(1,000語程度), コピー可, A4判片面印刷, 以下のURLからダウンロードした表紙を必ず添付すること。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g) ・公刊学術論文がある場合は、2点まで併せて提出できます。 各3部(コピー可) B. 修士論文の審査によらずに修士の学位を得た者 ・修士論文に相当する学術論文等(3点まで) 各3部(コピー可) ・論文の要旨 各4部 (日本語(2,000字程度)又は英語(1,000語程度), コピー可, A4判片面印刷, 以下のURLからダウンロードした表紙を必ず添付すること。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g) 注意 論文の言語が日本語, 英語以外の場合, 追加で和訳又は英訳の提出を求める場合があります。
(6)	本研究科における 研究計画書	4部(本研究科所定の形式, コピー可) 本研究科のホームページからダウンロードした研究計画書を使用して, A4判片面印刷で 4枚分 を使用して作成してください。 研究計画書は, 以下のURLからダウンロードできます。 http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g
(7)	推薦書	本研究科の受入予定教員が作成し, 捺印または署名したもの(様式自由。ただし, 厳封したものであること。)
(8)	在職証明書	常勤で勤務している所属先の大学が発行した在職証明書(様式自由 証明事項に職名の記載が含まれていること)

(9)	検定料 (30,000円)	検定料納入に際して発生する手数料は受験者負担となります。別途郵便局専用払込用紙（検定料用）を本研究科教務学生係へあらかじめ請求のうえ、郵便局（ATM不可）で払込み、振替払込受付証明書（郵便局の受付局日附印が必要）を入学願書表面の所定の欄に貼付してください。
(10)	住所票	1枚（本研究科所定の用紙）
(11)	返信用封筒	定形封筒（縦約23cm×横12cm）に住所、氏名、郵便番号を記入し、郵便切手84円分（郵便料金が改定された場合には、改訂後の郵便料金に相当する切手）を貼付してください。受験票送付に使用します。

以下の提出書類等は該当者のみ提出してください。

	提出書類等	摘 要
(12)	住民票の写し	※国内在住の外国籍の者のみ 提出日前30日以内に作成されたものに限り、国籍・地域、在留資格・期間に係る記載事項が省略されていないものを提出してください。出願時に国外に居住している者は、入学時に提出してください。
(13)	入学承諾書	※在職のまま入学する者のみ 在職のまま入学することについての所属長の承認書（様式自由。日本の大学に在職している場合は、所属する教員組織の長名であること）

5. 選考方法

履歴書、成績証明書及び修了証明書、論文、研究計画書及び推薦書等の内容を総合して、書類審査により、本研究科において高い水準の博士論文の執筆が十分に期待できるかどうかを基準に選考します。

6. 合格者発表

令和4年2月22日(火) 午前10時（予定）

神戸大学大学院国際文化学研究科ホームページ

当日、合格者に対してのみ郵便で発送し通知します。

なお、電話等による照会には一切応じません。

7. 入学手続

(1) 入学手続及び方法

入学手続関係書類は、合格者発表後に送付します。入学手続日、提出書類、入学手続方法等の詳細については、入学関係書類送付の際にお知らせします。

受験票、入学関係書類の提出及び次の納付金を納入してください。

(2) 納付金

区 分	金 額	摘 要
入 学 料	282,000円	1. 納付金額は令和3年度のもので、 2. 令和4年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。 3. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還できません。
授 業 料	前期分 267,900円 年 額 535,800円	

(注) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

(参考) 入学料免除、入学料徴収猶予及び授業料免除について

令和4年度の入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除等の内容、申請方法等の詳細について

は、決まり次第、神戸大学ホームページ「教育・学生生活」→「経済支援」→「授業料・入学料免除などの制度」に掲載します。

(URL : <https://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/finaid/index.html>)

掲載内容について、不明な点等がある場合は、下の問い合わせ先に照会してください。

入学料免除及び徴収猶予並びに授業料免除に関する問い合わせ先
神戸大学学務部学生支援課奨学支援グループ (078-803-5431)

8. 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 入試に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選考（出願処理，入学試験），合格者発表，入学手続業務及び今後の選考方法の検討資料作成のために利用します。
- (3) 出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学者についてのみ，入学後の学生支援関係（健康管理，授業料免除及び奨学金申請等），修学指導等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を本学より委託を受けた業者（以下「委託業者」という。）において行うことがあります。この場合，業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが，守秘義務を遵守するように指導します。

9. 注意事項

- (1) 出願前に自己の研究テーマによる受入れと研究指導の可否について，指導を希望する教員と必ず相談したうえで出願してください。
- (2) 出願手続後は，出願書類の記載事項の変更は認めません。
- (3) 一度受理した出願書類の返却及び検定料の返還は認めません。
- (4) 記載事項に虚偽の記入をした場合は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

※受験時に海外に在住の外国籍の者は，在留資格により日本に滞在して入学する場合，入学日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。在留資格「留学」と異なる場合は，日本の法律上外国人留学生として扱われず，外国人留学生を対象とした各種奨学金，医療費補助等の諸制度・サービスへの申請が難しい場合がありますので注意してください。

10. 参考

志願者数等の状況

令和3年度の神戸大学大学院国際文化科学研究科博士課程後期課程の志願者数等の状況は次のとおりです。

専攻	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数
文化相関	6	8(0)	7(0)	7(0)
グローバル文化	9	9(0)	8(0)	7(0)
合計	15	17(0)	15(0)	14(0)

(備考) 数字は博士課程後期課程の総数を示します。

() 内は，特別選抜入試該当者の数を内数で示します。

《 麻しん（はしか）、風しんの感染予防措置 》

麻しん、風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん、風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

- ① 麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類
- ② 過去5年以内（2017年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類
- ③ 過去5年以内（2017年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しんと風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

- * ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。
- * ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。医療機関等から発行される証明書の他、2008年4月1日から2013年3月31日まで実施されたMRワクチンの第3期予防接種（中学校1年生に相当する年齢時）や第4期予防接種（高校3年生に相当する年齢時）に伴う「予防接種済証」でもかまいません。第3期・第4期予防接種の「予防接種済証」は①の1回分として使用できます。
- * 母子手帳も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。既往歴（かかったことがある旨の記載）のみで、診断根拠として確実な検査結果などが記載されていない場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。
- * ③では、次頁の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。
- * ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。
- * 麻しん、風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
- * 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は新生健康診断実施日、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：保健管理センター

麻疹と風疹の発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区 分	測定方法	判定基準	備 考
麻疹	IgG-EIA法 PA法 NT法	8.0以上の陽性 256倍以上の陽性 4倍以上の陽性	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性
風疹	HI法 IgG-EIA法	32倍以上の陽性 8.0以上の陽性	2つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (HI法を推奨)

血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。

発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、単に抗体陽性とされる値よりは高い値なので注意してください。

- * 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。（特に、抗体検査を受ける場合は、測定方法と判定基準を確認していただいでください。）

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学保健管理センター TEL 078-803-5245

神戸大学学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

担当教員一覧（令和3年4月1日現在）

文化関連専攻

領域	コース	職名	氏名
地域文化系	日本学	准教授 教授 准教授 准教授 教授 准教授	板倉 史明 長 志珠 辛島 理人 昆野 伸幸 寺内 直子 ○ Yaroslav SHULATOV
	アジア・太平洋文化論	教授 教授 教授 教授	伊藤 友美 貞好 康志 谷川 真一 菫原 真守
	ヨーロッパ・アメリカ文化論	准教授 教授 教授 教授	井上 弘貴 小澤 卓也 西谷 拓哉 ◎ 野谷 啓二
異文化コミュニケーション系	文化人類学	教授 講師 教授 教授 准教授	梅屋 潔 大石 侑香 岡田 浩樹 齋藤 剛志 下 尚
	比較文明・比較文化論	准教授 准教授 教授	北村 結花 田中 祐理子 塚原 東吾
	国際関係・比較政治論	教授 教授 講師 教授	坂井 一成 中村 一 新安 川 覚匠 岡 正 郎 晴

（注） ◎印の教員は、令和4年3月退職予定 ○印の教員は、令和3年8月退職予定
最新情報はホームページで確認してください。

グローバル文化専攻

領域	コース	職名	氏名
現代文化システム系	モダニティ論	准教授	石田圭子
		教授	市田良彦
		教授	上野成利
現代文化システム系	先端社会論	教授	松家成理
		教授	青山薫博
		教授	小笠原博毅
現代文化システム系	芸術文化論	教授	櫻井徹
		教授	西澤晃彦
		准教授	池上裕子
言語情報コミュニケーション系	言語コミュニケーション	講師	川上尚恵
		講師	小松原哲太
		准教授	小齊藤美穂
言語情報コミュニケーション系	感性コミュニケーション	教授	田中順子
		講師	朴秀娟
		教授	藤濤文子
言語情報コミュニケーション系	情報コミュニケーション	准教授	北田亮子
		講師	巽良子
		教授	松本絵理子
言語情報コミュニケーション系	情報コミュニケーション	教授	大月一弘
		教授	大康敏成
		准教授	清光英健
言語情報コミュニケーション系	情報コミュニケーション	准教授	西村元志
		教授	村尾元
		教授	島津厚久
外国語教育系	外国語教育システム論	准教授	高橋康大
		准教授	廣田大幸
		教授	保横博一
外国語教育系	外国語教育コンテンツ論	教授	石川慎一郎
		教授	柏木治美
		准教授	木原恵美子
外国語教育系	外国語教育コンテンツ論	教授	Timothy GREER
		教授	朱春躍
		教授	大和知史
連携講座	先端コミュニケーション論	客員教授	内海章
連携講座	先端コミュニケーション論	客員准教授	住岡英信
連携講座	先端コミュニケーション論	客員教授	山田英玲子

(注) ◎印の教員は、令和4年3月退職予定
最新情報はホームページで確認してください。